

バリアフリー教室（札幌国際大学）実施概要

1. 開催日時：令和3年7月9日（金） 10:40~14:30
2. 会場：札幌国際大学
札幌市清田区清田4条1丁目4-1
3. 参加者：札幌国際大学 学生 25名
4. 主催：国土交通省 北海道運輸局
5. 共催：国土交通省 北海道開発局
6. 協力：カムイ大雪バリアフリースーツアークセンター
7. 後援：北海道
8. 実施概要：バリアフリー・ユニバーサルデザインの説明や、「サービス業に就いた時に役立つもの、大切な視点」と題した講演を通じ、バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方や「心のバリアフリー」とは何かを学んだ。（オンライン）



障がい者を意識

- 改めて自分の障がい意識
- 障がい者って、どんなイメージなんだろう...

履歴書で分かる事



タテ40mm
ヨコ38mm



「障がい者」のイメージ
「車いす」のイメージ
「車いす」という視点でしか見ていない

履歴書に「車いす」
骨形成不全症（骨が弱い）と記載

- 車いすから移乗できます
- 普通トイレで使えます
- 運転できます
- 階段のぼれます
- 歩けます・・・

9. アンケート結果より抜粋

- 周りは友達や親のサポートがあって、今まで難なく生活していたのが、世間では理解されない(心のバリアフリー)現状を知った。また、車椅子=歩けない、コミュニケーションを取れないと思われがちで、ホテルや会社で話も聞いてくれないことが多いことも分かった。
また、北海道ではバリアフリー化が進んでいないのも現状で、札幌は少しずつ増加しているが、都市部以外だとあまり普及してないこともわかりました。
- バリアフリーについて知ってはいたけど、具体的にどんなことを行っているかを詳しく知らなかったため、とても勉強になりました。
看板などのフォントの大きさや、色、デザインなど細かいところまでこだわっていて、大変な事だとは思いますが、障害のある方にとってはとても重要なことのため、このこだわりは大切だと感じました。実際に障害のある方と仲良くなることで私達が気づくことは沢山あり、少し考え方を变えるだけで、お互いに過ごしやすく観光しやすい環境を作ることができるため、一緒になってバリアフリーのことを考える必要があると学びました。